

2. 都市づくりの将来像

- 2-1 都市づくりの理念
- 2-2 将来都市像

2-1 都市づくりの理念

都市づくりを進める上での根本的な考え方、哲学である「都市づくりの理念」については、町の上位計画でもある『新八雲町総合計画』で示す、まちづくりの理念・テーマにもとづき定める。

【新八雲町総合計画で示すまちづくりの理念】

1. 自然を愛し美しい町をつくろう
2. 助け合うあたたかい町にしよう
3. 活気あふれる町にしよう
4. つねに進歩する町民になろう

【新八雲町総合計画で示すまちづくりのテーマ】

- 道南北部の中心都市にふさわしいまちづくり
- 人口と雇用が維持されにぎわいのあるまちづくり
- 町民と行政が支え合う協働のまちづくり

また、新八雲町総合計画では豊かで美しい自然を次代に伝える環境のまちづくりを目指すこととしている。

これらを踏まえ、多くの人々が集い、住まい、憩う市街地の“都市づくりの理念”を次のように定める。

① 道南北部の中心としての『にぎわい』が生まれる都市づくり

道南北部の中心として、人が憩い、集うことにより、人と人とのふれあいを感じ、都市としての『にぎわい』を感じる都市づくりを目指す。

② 世代のニーズ[※]に応じた『安心』して暮らせる都市づくり

子どもから高齢者まで、すべての町民が、心安らかに過ごせる『安心』して暮らせる都市づくりを目指す。

③ 災害や障壁を克服した『安全』な都市づくり

道路、公園、下水道といった都市基盤をはじめとする各種施設の整備により、万が一の状況においても、いつも通りの生活を送れる『安全』に暮らせる都市づくりを目指す。

④ 住んでいて良かったと感じる『快適』な都市づくり

北海道の気候風土や地域特性を最大限に活かした、次の世代に引き継ぐべき北海道にふさわしい低炭素・持続可能で質の高い暮らしの場を構築し、豊かな自然環境の中で、八雲町に住んでいて良かったと思える『快適』な都市づくりを目指す。



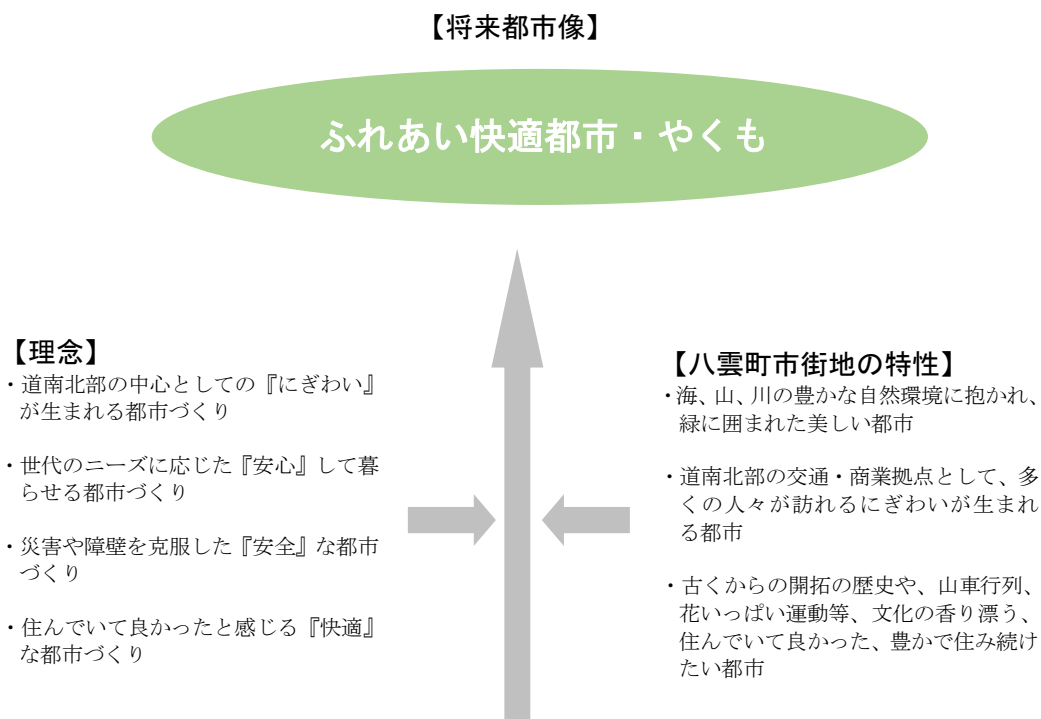
育成牧場から市街地を望む

2-2 将来都市像

都市計画マスタープランの策定に基づく、各種事業等の展開により実現される「町の将来都市像」については、都市づくりの目指すべき方向を示すものとして、町民が感じる八雲町の魅力を具体的に表す言葉を活かしつつ、自然とのふれあいが素晴らしい町、駅や公園等での人と人とのふれあいが生まれる快適な町をイメージできる言葉として、以下のように設定する。

【町民が感じる八雲町の魅力】

- ①海、山、川の豊かな自然環境に抱かれた町
- ②道南北部の交通・商業拠点として、多くの人々が訪れる生活利便性の高い都市
- ③古くからの開拓の歴史や、山車行列、花いっぱい運動等、文化の香り漂う町



【まちづくりの将来像】(新八雲町総合計画におけるまちづくりの将来像)

- 道南北部の中心都市にふさわしいまちづくり
- 人口と雇用が維持されにぎわいのあるまちづくり
- 町民と行政が支え合う協働のまちづくり

